

(公財) 米盛誠心育成会だより 第29号

前理事長に捧ぐ



理事長 米盛庄一郎

令和3年9月に当財団は創立30年を迎えました。米盛庄司前理事長が父母から受け継いだ遺産と本人の財産を提供して3億円の基本財産を運用して多くの給付型奨学金の支給と研究団体への助成を行ってきています。今年もコロナ禍の中、理事、評議員の皆さまの支援の下、予定の事業も滞りなく実施されてきており、その詳細はこの紙面にてご覧ください。

残念なことに10月に米盛庄司前理事長が逝去されましたが、今後とも当財団の維持、発展は前理事長の思いをしつかりと受け継いでいかなければと思うところです。この財団の基である米盛建設は大正10年に米盛庄太郎が創業して今年100周年を迎えて、先日記念事業として郡山の八重山公園にて植樹祭を執り行いました。地域に貢献すること、地元で喜ばれる企業であり続けることなど、当財団と共通する目標があります。今後とも一歩ずつ歴史を作っていく、財団の運営を確実なものにしていき、地域貢献を続けていくことを、亡き前理事長が天国から見守っていたいただきたいと思ひます。

改めて、米盛庄司前理事長のご冥福をお祈りいたします。 合掌

令和2年度奨学生終了式・進路

3月、7名の奨学生が卒業しました。それぞれの進路でなお一層、ご活躍ください。進路先は次のとおりです。
▽進級：鹿児島大学卒同大学院へ、鹿児島大学農学部4学年へ、大学院博士3学年へ
▽就職：鹿児島工学院専門学校卒業レンスタイル(株)、(株)中池組、鹿児島大学大学院卒古森弘一建築設計事務所へ

令和3年度奨学生採用通知書交付式

奨学金受給希望者の中から、所属学校等の推薦書及び選考委員による面接の結果、7名が決定され6月12日採用通知書の交付式を行いました。



鹿児島工業高校 1名、鹿児島工学院 鹿児島工業高等専門学校 2名、鹿児島大学 留学生 2名。



竹元理事

米盛理事長から採用決定書の交付と祝辞があった後、選考委員の竹元理事からお祝いや励ましの言葉をいただきました。財団発足以来の採用者は、393名になりました。



令和3年度採用の奨学生の皆さん

令和3年度研究助成金交付団体が決定

今年度の研究団体への助成金は、次の4団体(320万円)に決定し、7月13日米盛建設(株)において、米盛理事長から各団体代表者へ助成金目録の贈呈を行いました。また、昨年度からの継続分3件には200万円が決定し、今年度の助成金総額は520万円となりました。

- \* 紅麴安定製造法の確立および苦味成分 同定とマスキング技術の開発 (鹿児島大学農学部 吉崎由美子准教授)
- \* 建築家松井宏方の鹿児島に与えた影響について (建築家松井宏方に関する調査研究会)
- \* HPLC用いた藻類推定手法の実用化 (鹿児島大学大学院理工学研究科 小橋乃子特任助教)
- \* 食べるワクチンによる家畜感染症の防御とその応用展開 (かごしま黒豚感染防御研究グループ)

研究助成金目録贈呈式



奨学生からの便り(抜粋)

米盛誠心育成会の奨学生となって鹿児島工業高校3年 入来田有梨

私には、土木の現場監督になるという夢があります。この夢を実現させるため両親の経済的負担を減らし、勉強に集中するために奨学金の申請をしました。そして、今

米盛誠心育成会の奨学生になれたことをとても嬉しく思います。奨学金の面接の時「私はコミュニケーションをとることが苦手なのが欠点である」と話した際、「現場監督に1番求められている力だね。」と言われまし

た。頭では理解していてもそれを改善する努力をしていませんでした。しかし、今回実際に言っていたくことで何か行動を起こさなければいけないという気持ちになりました。今は、コミュニケーション能力の高い子はどんな会話をしているのか聞いたり、クラスの中だけでなく他クラスの子と会話をしてみたりと努力をしています。今後は奨学金を使い就職試験に向けて勉強に励み、資格取得にも力を入れたいと思います。米盛誠心育成会の奨学生としての自覚をもち、これまでよりも自分の行動に責任を持って行動していきたいと思ひます。

鹿児島工学院専門学校2年 大里有生

この度は、米盛誠心育成会の奨学生に採用していただき、誠にありがとうございます。奨学生となり気をつけている事が三つあります。一つ目は奨学生としての自覚です。他の工学院的の模範となるよう心がけ、朝早く登校し挨拶運動に取り組みでいます。この活動で早起きが当たり前にでき良い生活習慣にも繋がっています。今後継続したいと思ひます。二つ目は、勉強についてです。授業を真剣に取り組み、知識を一つでも多く自分の物とするために板書以外の先生の発言など逐一メモを取っています。そして、中間テストでは、納得のいく結果を出す事ができ大変嬉しかったです。期末テストでも良い結果を出せるよう日々の授業を全力で取り組みたいです。三つ目は、スケジュール管理です。私は物忘れの短所があります。そのため、今年から一週間ごとに「やるべき事」や「達成できた事」などを手帳に書く事を習慣にしています。最近では物忘れが激減しました。また、手帳を書く事で自分の変化にも気がつきました。今では手帳を書く週末が楽しみの一つになりました。これら三つの事を意識し続け、習慣化させたいと思ひます。ま

た三つ目の「短所を楽しみにする」のように自分の短所に面と向かって立ち向かい一つずつ楽しみや長所に変えていきたいです。今後ともよろしくお願ひ致します。

鹿児島工学院専門学校2年 榎田大悟

この度は、米盛誠心育成会の奨学生に採用していただき誠にありがとうございます。私は今、建築デザイン学科で建築のことを学んでいます。これから約半年間建築の基礎を勉強し、来年は専攻科に進学して2級建築士取得を第一の目標とし、将来的には鹿児島県の企業に就職し、建築業の発展や街の繁栄に貢献できるような人材になることを最終的な目標としております。しかし、今の自分の知識や技術ではまだまだ目標である人材になるためには程遠く、この先、学生生活でもっと努力し、知識や技術を身につけなければなりません。しかし、学校の教材だけではより深いところまで学ぶことができないので参考書などが必要ですが、今までは金銭面のことで手をつけることができませんでした。しかし、今回奨学生となり参考書などを使いより深く勉強することができるようになりました。これから、この奨学金を有意義に活用し、目指している人物像により近づくために勉強に励んでいきたいと思ひます。この度は誠にありがとうございます。

鹿児島工業高等専門学校4年 有村駿

私は、奨学生となってこれまでより一層勉強に励みたいと思ひます。授業中の学習以外にも日々の自宅での学習の質を上げていきたいと思ひます。そこで、私は自宅学習での目標を立てた。具体的な内容は毎日ノート2ページ分授業の予習復習をすることだ。〇〇時間勉強するなど時間で区切ってしまうと学習の内容が薄くなってしまいがち。そのためこのような目標を立てた。奨学金の使い道としては英語の参考書を購入しようと思ひている。理由は今年の後期にTOEICを受験するからだ。私は、米盛誠心育成会の奨学生となって周りのおかげで勉強できる環境があり、勉強できるこ



とに感謝し、勉学に励み様々な知識を身につけていきたい。

鹿児島工業高等専門学校4年 山ノ内諒

この度、米盛誠心育成会の奨学生に選んでくださり、ありがとうございます。現在、鹿児島高専では広い範囲の専門を学んでいます。私は、鹿児島高専を卒業後、より深く専門的知識や能力を身につけるために進学をしたいと考えております。そのために、現在の勉強をより深く学ぶことが必要となってきます。援助してくださった奨学金は参考書等の購入や、より勉強しやすい環境作りのためなどに利用させていただきます。また、技術士第一次試験などの資格試験にも挑戦したいと思っております。地元鹿児島に貢献できる技術者になるために専門的知識、能力を高め、たくさんの経験を積んでいきたいと思っております。そして、それらを十分に発揮できるよう今後は援助していただいた奨学金を利用させていただきます。さらに勉学に励んでいきます。

鹿児島大学院3年 ルンティダン(ベトナム)

私は米盛誠心育成会の奨学生になったことをとても嬉しく思います。奨学金をもらったのは初めてです。日本語が苦手ですので、日本に奨学金を申請するのは簡単ではありません。米盛誠心育成会の奨学金をもらったとき自分に自信が持てるようになりまし。一生懸命頑張って自分を信頼すれば良い結果が得られると思っております。米盛誠心育成会の奨学金の友達に紹介します。将来的には米盛誠心育成会と協力するきかいがふえることを願っています。

鹿児島大学院2年 馬以萍(中国山東省)

この度は、米盛誠心育成会の奨学生に採用していただき、誠にありがとうございます。奨学金の受給で、不安や負担が軽減されただけでなく、応援してくださる方々がいることを知り、自宅での勉強時間も確保でき、安心感と心に余裕が持てるようになりました。特にコロナが収束しなくて、修士論

文を書くために努力する最後の学期に集中して勉学に励むことが出来ています。両親にとっても非常にありがたいと、家庭を助けることができ、本当にうれい。2019年9月に鹿児島に来てからもう2年近く家に帰れない日々ですが温かさを感じています。そのぬくもりを伝えていけるようになりたいと思いつつ頑張っています。私は、奨学生としてふさわしい行動をし、社会で活躍できる人材になることが、支援して下さった方々への恩返しになると考えています。皆様の温かいご支援に応えられるよう、より一層勉学に励み、将来郷土の発展に貢献できる自立した女性になれるよう精進したいと思っております。最後になりましたが、ご支援くださった全ての方々に心よりお礼申し上げます。本当にありがとうございます。

継続奨学生からの便り(抜粋)

財団奨学生として一年のはじめに 隼人工業高校3年 泊ののか



まずはじめに、奨学生としてこれからの一年の大きな私の目標は、高校3年生になり進路実現に向けて、心構えや決意をしっかりしていくことです。卒業後の進路は就職を考えているのですが、まだはっきりと職種やしたいことが決まっていなくて、企業先のパンフレットなどを積極的に見ていこうと思っております。そして面接などもあるので、自分の長所と短所を把握して、良いところはどんどん伸ばし悪いところは改善できるようにしたいです。生活面では、体調を崩さないようにしっかりと自己管理と、礼儀や常識をしっかりと守ります。勉強面でも、成績向上のために努力していきます。米盛誠心育成会の皆様から奨学金を頂いている以上、恥ないような行動を、そして将来のためにすべきことをして奨学生だという自覚と意識をもって過ごしたいと思っております。できる限りの資格取得をするなど将来に繋げていきたいです。学校だけでなく家でも精一杯頑張っています。改めてこれから一年宜しくお願い致します。

鹿児島工業高校3年 南野愛莉

昨年度に引き続き、承認して頂き本当にありがとうございます。奨学金のおかげで様々な事に挑戦することができた2年生の1年間で。3年の新学期が始まり、クラスでは副総代を務め、また、生徒会活動では選挙管理委員長を務めさせていただきました。勉強面では奨学生の自覚を持ち、計画的に進めていきたいと思っております。授業は一つ一つを大切に、先生のおっしゃったことはメモをとり、分からない所は積極的に質問しそのままにすることが絶対にならないようにします。資格取得では、奨学金のおかげで過去様々な資格に挑戦し、取得できました。今年も様々な資格に挑戦したいと思っております。直近では6月にレタリング技能検定2級を受けます。絶対に合格するという気持ちで忘れずに、頑張ります。部活動では女子バスケットボール部で練習に励んでいます。5月には、インターハイ予選を控えています。練習以上のことを本番でするのは困難ですので、練習で積極的に動いて、失敗を成功に変えていきたいです。チーム一丸となり悔いの無い試合にしたいです。3年生は進路を選択する時期です。私は就職希望で4社で悩んでいます。悩める状況にあるのはとても幸せなことだと実感しています。夢に向かって自分をしっかりと見つめ直し、決断していきたくです。最後に、奨学生としての責任と自覚を持ち、充実した学校生活を送っていきま

県内公立高校へ図書贈呈



今年度は、近代日本経済の父と称され、NHK大河ドラマ「青天を衝け」の主人公としても取り上げられた「渋沢栄一」の著書『論語と算盤』を県内68の公立高校に贈呈いたしました。

11月16日に県教育長室で行われた贈呈式では、米盛理事長が「広く高い視点で時代のニーズを見極める力や、実業界のみならず社会福祉事業など生涯にわたる幅広い活動の原点を記した本書を紐解くことで、次代を担う高校生の皆さんが進取の気性を養って、自らの人生を切り拓いてい

れることを期待する」との思いを述べられました。図書を手にした東條広光教育長からは、「継続的な寄贈の取り組みに感謝を申し上げます」との言葉をいただきました。



米盛建設創業100周年記念植樹祭

今年、創業100周年を迎えた「米盛建設」では、同社グループ企業を含めた社員や関係企業・団体及び行政などから約240人が参加して、11月28日の日曜日晩秋の晴天のもと、鹿児島市の八重山公園に隣接する古野平市有林にて、15種類850本の苗木の記念植樹を行いました。

植樹に先立つての式典では、10月に逝去された米盛庄司前理事長への黙祷の後、米盛庄一郎理事長から「植樹を通して創業当時の思いを共有できることは誠に感慨深いものがある。将来、四季折々の花や紅葉を楽しむ場所として喜ばれ、子供たちの学びの場としても活用できる森にしたい」と挨拶されました。



米盛理事長(代表植樹)



総勢240人参加しての植樹

研究助成成果報告会の開催

12月13日(月)、令和元年度に助成決定したテーマ3件、①鹿児島大学理工学域工学系小野教授の「歪んだQRコードを復元する技術の実現」、②同大農学部加治屋講師の「血管改善作用のある桜島大根を日常食化するための検討」、③鹿児島工業高等専門学校電気電子工学科 柘助教授の「非接触式赤外線火山灰センサによる桜島降灰の自動計測と灰データ利用者へのネットワークシステムの開発」について報告会が開催されました。



参加者からは、「イメージとしての指標を用いる工夫も大切ではないか」、「報告会での建設的な提言が今後の研究を後押しすることを期待する」などの意見や感想が寄せられました。

事務局から

本年10月21日逝去されました、当財団の創業者で前理事長米盛庄司様のご遺徳を偲び心からのご冥福をお祈り申し上げます。

国内では新型コロナウイルスの感染拡大も収束に向かいつつあり、関係者の皆様方のお陰様で財団の事業も予定通り実施できておりますが、ここにて新たな変異株のウィルスの蔓延も懸念されております。今後とも感染拡大には十分気を付けましょう。

事務局連絡先

890-0014 草牟田二丁目二七七  
米盛誠心育成会事務局 南・水元  
(099) 226-0205  
E-mail k-minami@yoneg-net.co.jp

